

報道関係者各位

2017年7月25日

大東建託グループ「ライトダウンキャンペーン2017」結果発表 スギ460本分の植林・管理費用を岩手県住田町へ寄付

大東建託グループ(本社:東京都港区)は、環境省が呼び掛ける、明かりを消して地球温暖化について考える「ライトダウンキャンペーン」に賛同し、夏至の日(6月21日(水))とクールアース・デー(7月7日(金))の両日、全国1,011カ所の当社グループ施設で20時から22時までの2時間、一斉消灯を実施しました。

その結果、節電量が11,120kwhとなったことから、スギ460本分の植林・管理費用※を寄付させていただくことが決まりました。

本キャンペーンは当社グループ施設だけでなく、当社グループの管理建物のオーナー様、入居者様、そして取引先様や当社従業員などにも呼びかけ、ご協力をいただいています。

※管理費用:長期にわたる下刈りや間伐等、環境整備・保全のための費用

■「ライトダウンキャンペーン2017」結果

今回の「ライトダウンキャンペーン2017」では、合計11,120kwhの電力を節電することができました。この節電した11,120kwhは、CO₂(二酸化炭素)量に換算すると、その量はCO₂を吸収するスギ460本分に相当します。

当社ではこの結果を受け、今年は460本分のスギの植林費用と長期にわたる管理費用を、国産材活用で協業する岩手県・住田町に寄付させていただくことが決まりました。



■森林を育てる社会貢献活動

当社グループは、環境省が2003年から実施している「ライトダウンキャンペーン」に賛同し、2014年より、節電された電力量をCO₂に換算、そのCO₂を吸収するスギの本数分の植林支援活動を岩手県・住田町と連携して行っています。

植林したスギの本数は、今年の460本を含めると4年間で合計1700本となります。

今後も当社グループは、森林を整備し育てるための支援活動に継続して取り組んで参ります。

＜本件に関するお問い合わせ＞
大東建託株式会社 経営企画室 三輪・和賀 TEL:03-6718-9174